

アメリカ経済とトランプ大統領 - トランプ大統領誕生の背景に焦点を当てて -

2019年3月24日(日) 経済学部 小倉 将志郎

●前置き：アメリカの地理(※地図参照)

●トランプ大統領誕生の衝撃

- ・2015年6月：出馬表明→2016年春に共和党予備選挙で他の候補破り大統領候補に
- ・2016年11月：大統領選挙一般投票→民主党ヒラリー・クリントン候補破る
- ・2017年1月：第45代アメリカ合衆国大統領に就任

●トランプ大統領の主張・政策

- ・外交：孤立主義・国内優先主義的外交
 - ・経済(「トランプノミクス」)：保護主義的貿易政策、拡張主義&大企業優遇的国内政策
 - ・政治：排外主義的・大衆迎合主義的施策
- ここまでの成果は限定的という評価

●トランプ大統領はなぜ誕生したか

- ・直接的背景：治安悪化、景気後退、移民増大、軍事費増大、難民受け入れ問題、政治不信…
 - ・根源的背景：1980年代以降のグローバル化、金融化、情報化、サービス化などの進展と、それらがもたらした経済格差(地域格差と所得格差)の拡大(※資料参照)
 - ・中西部の製造業集積地(ラストベルト)では、雇用喪失とともに中間層解体の危機
 - ・北東部、西部の金融、情報通信産業中心に、少数の経営層・富裕層に所得と富の集中
- 現状からの変革を求める声(特に中間層)の高まり→オバマ政権(2009~2017)への期待と失望
- 社会的分断(自己防衛、異質な者・弱者への攻撃 and/or 富裕層への反発、「反格差」運動活発化)
- 高まる前者の声を巧みにくみ取ったトランプ

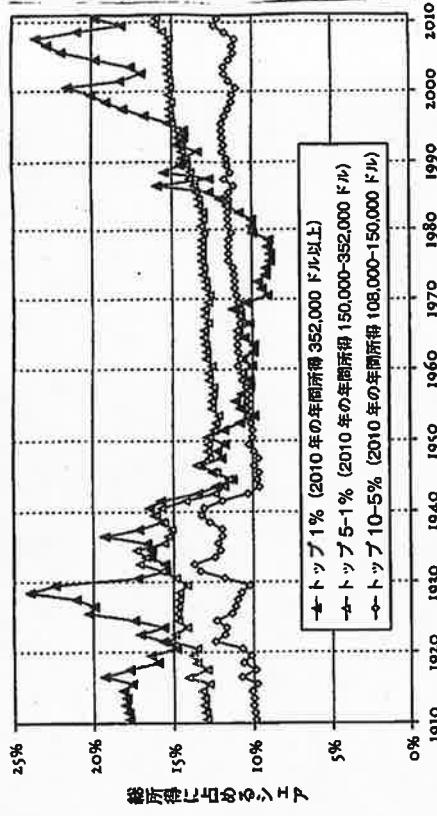


図8-6 米国におけるトップ十分位の構成 1910-2010年

1970年代以降のトップ十分位の所得シェア増加は、主にトップ百分位によるものだ。
出所と時系列データ：http://piketty.pse.ens.fr/capital21c を参照。

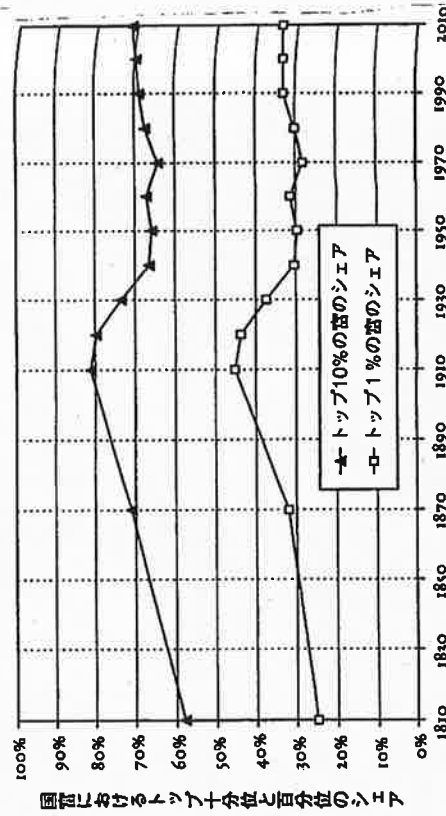


図10-5 米国の富の格差 1810-2010年

1910年にはトップ十分位が国富のほぼ80%を所有し、現在は70-75%を所有。
出所と時系列データ：http://piketty.pse.ens.fr/capital21c を参照。

トマ・ピケティ著『21世紀の資本』(2014年、みすず書房)より